



令和6年度日事連建築賞

日事連建築賞選考委員会

- 委員長 **松村秀一**
神戸芸術工科大学学長
- 委員 **加茂紀和子**
(株)みかんぐみ一級建築士事務所
- 木下庸子**
設計組織 ADH、工学院大学名誉教授
- 中谷正人**
建築ジャーナリスト
- 原田真宏**
(株)マウントフジアーキテックススタジオ
一級建築士事務所
芝浦工業大学建築学部教授
- 丸川眞太郎**
日事連元副会長、(株)丸川建築設計事務所
- 宿本尚吾**
国土交通省大臣官房審議官

本連合会では、優れた建築作品を設計した建築士事務所を表彰することにより、建築士事務所の資質の向上に資することを目的に、毎年「日事連建築賞」を実施しています。

本年度は、一般建築部門 82 点、小規模建築部門 75 点の合計 157 点の応募があり、単位会での第 1 次審査を経て、29 単位会から日事連に一般建築部門 30 点、小規模建築部門 26 点、合計 56 点の建築作品の応募がありました。

6 月 14 日に日事連会議室において選考委員会を開催、第 2 次審査を行い、受賞候補作品を選定しました。7 月 4 日から 8 月 2 日にかけて、一般建築部門および小規模建築部門から合計 8 作品の現地審査を行いました。

8 月 2 日の最終選考委員会において討議・検討の結果、国土交通大臣賞と日事連会長賞を選定しました。その後、さらなる討議・検討の結果、一般建築部門から 3 作品、小規模建築部門から 3 作品を優秀賞とし、優秀賞に準ずるものとして、一般建築部門および小規模建築部門からそれぞれ 5 作品を奨励賞に選定しましたので、以下に紹介します。

一般建築部門：延面積が 1,000㎡を超え 20,000㎡以下の建築物
小規模建築部門：延面積が 1,000㎡以下の建築物 (戸建住宅を含む)

優秀賞以上の作品については、本誌 11 月号から始まる連載「令和 6 年度日事連建築賞作品紹介」にて、図面とともに詳細記事を掲載する予定です。11 月号は国土交通大臣賞の作品を紹介します。

国土交通大臣賞 | 一般建築部門 (1 点)

徳島県新浜町団地県営住宅 2 号棟
(有) 内野設計 / 島津臣志建築設計事務所 /
(株) カワグチテイ建築計画 / (株) 長谷川大輔構造計画 | 徳島会

日事連会長賞 | 小規模建築部門 (1 点)

とーべ kufu | 広島会

優秀賞 | 一般建築部門 (3 点)

- 熊本地震震災ミュージアム KIOKU**
(株) オープラスエイチ一級建築士事務所 / (株) 産紘設計 | 東京会
- 東京都市大学 7 号館**
シーラカンスケイアンドエイチ (株) 一級建築士事務所 /
(株) 東急設計コンサルタント / 東急建設 (株) 一級建築士事務所 | 東京会
- まきのさんの道の駅・佐川**
(株) 若竹まちづくり研究所 / (株) STUDIO YY /
(有) ワークステーション | 高知会

優秀賞 | 小規模建築部門 (3 点)

- 国東市鶴川商店街周辺拠点施設**
下村正樹建築設計事務所 / (株) 塩塚隆生アトリエ | 大分会
- 睦モクヨンビル**
(有) 睦設計コンサルタント | 長崎会
- NF-SQUARE O-GAKI**
坂本匡史建築設計室一級建築士事務所 /
(株) 青木茂建築工房東京事務所一級建築士事務所 | 東京会

奨励賞 | 一般建築部門 (5 点)

- 幼保連携型認定こども園 らみどり**
(株) はりゅうウッドスタジオ / TAPS 建築構造計画事務所 | 福島会
- KIND Center**
(株) 渡邊健介建築設計事務所一級建築士事務所 | 東京会
- COURT HOUSE 自由が丘**
一級建築士事務所奥野公章建築設計室 | 東京会
- 岐阜市立長良小学校および長良公民館**
大建・大建 met 設計共同体 | 岐阜会
- 対馬博物館**
一級建築士事務所 (株) 石本建築事務所九州オフィス /
トータルメディア開発研究所 | 福岡会

奨励賞 | 小規模建築部門 (5 点)

- オモヤとハナレ**
山村健建築都市設計事務所 一級建築士事務所 | 東京会
- ゆりのき保育園**
(株) SN Design Architects 一級建築士事務所 | 静岡会
- KANEKA Wellness Center**
大成建設 (株) 一級建築士事務所 / 隈研吾建築都市設計事務所 | 大阪会
- 壤と家**
(同) 建築設計事務所 SAI 工房 | 兵庫会
- 鳥飼八幡宮 式年遷宮**
一級建築士事務所 二宮設計 | 福岡会



国土交通大臣賞 | 一般建築部門

❖ 徳島県新浜町団地県営住宅 2 号棟 ▶ (有)内野設計 / 島津臣志建築設計事務所 /
(株)カワグチテイ建築計画 / (株)長谷川大輔構造計画 徳島会

2019年に改正された建築基準法の告示を利用し、最も標準的な構法と寸法体系で特殊な技術を用いず、地域の材料を用いて、誰もが取り組めるモデルを目指して生まれた、日本初の75分準耐火構造による「あらかし木造4階建て共同住宅」。複雑に絡み合い、あちらを立てればこちらが立たずのいわば“五すくみ”の防耐火・構造・設備・遮音・建築計画を統合し、木造の軸組工法らしい、明るく風通しのいい住空間を実現した。

構造は、最も一般的な910モジュールと在来軸組工法をベースに、耐震性能と防耐火計算上必要となる大きな開口部を両立させる

ため、新たに実験等で成績証明を取得した斜材耐力壁を採用した。メインフレームは、65mmの燃えしろを含む330角のカラマツ集成材で構成し、その他の部分は県産杉の柱・梁を強化石膏ボード21mm二重貼りで防火被覆している。

道路や庭に向かって植木鉢や物干しがあふれ出る新浜町のたくましく大らかな暮らしぶりにつながるよう、「間の間」と名付けた土間エントランスを中間領域として設え、敷地内を通り抜けるバリアフリーな歩道とともに、地域を柔らかくつなぐ建築となった。

中規模木造が地域に受け入れられ、建てら



見守り合いによる公助の関係を生み出す2棟の配置



共用廊下。水廻りは共用廊下に面したエコシャフトに集約

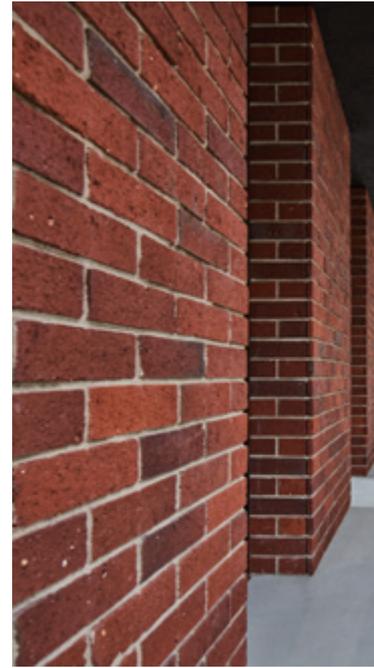


Cタイプの住戸。リビングより個室を見る

れていくには山側との協業が不可欠である。事前調達で諸課題を解決し、非常時の木材供給につながる木材のローリングストックへの接続を示すことで、木造建築の社会的意義も示唆したプロジェクトとなっている。

建設地 徳島県徳島市
用途 共同住宅
構造 木造、一部RC造
階数 地上4階
敷地面積 3,327.60㎡
建築面積 635.62㎡
延面積 1,727.31㎡





県内で生産されたクラシカルなブリックタイルの外壁

日事連会長賞 | 小規模建築部門

◆ **tobe** ▶ kufu 広島会

本作の住宅兼ギャラリー「tobe」は、施主の2つの要望から始まった。1つは施主が個人で収集したartと共に暮らせる空間、もう1つは高齢になった施主の祖母を施主の娘と共に暮らすことで元気にしたいという要望であった。

敷地は広島市内の住宅街。そこに祖母が所

有する築50年の3階建てアパートが建ち、1・2階は祖母が、3階は賃貸として別の家族が生活している。周囲には小道が走り、地域の人の生活動線として利用されている。設計にあたってはこれらの要望や条件に対して、祖母のアパートを包み込むように新たな増築建築物を小道に沿って配置した。



既存建物側に面する窓は全面掃き出し窓に



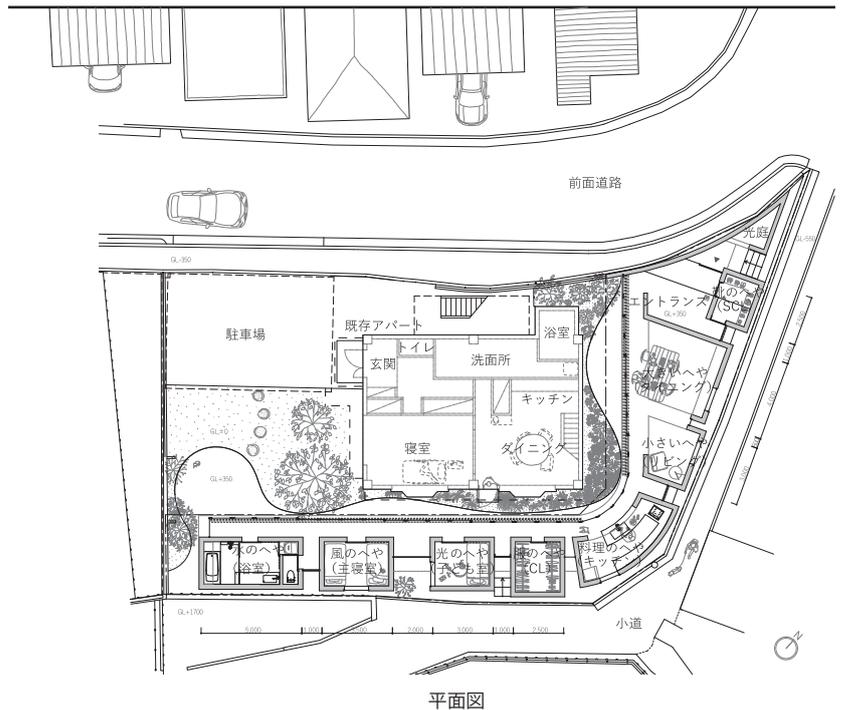
暮らしやすさとギャラリー使いを両立させる土間コンクリート

また小道に対して圧迫感を与えないように、建物の外殻を部屋ごとのスケールまで落とし込み、さらに部屋の中に隙間を設けることで、視線の抜けと、街に対してartを開くような余白を設けた。各部屋には特に用途を決めず特徴のみを与え、できるだけ並列な展示空間とし、それらを外廊下でつなげた。また、全面引戸と地続きのくねくねデッキにより既存と増築間の内外の境界を曖昧にすることで、建物の中のどこからでも祖母を見守ることができ、逆に祖母はどこからでも入ってくる事ができる。別棟だが同居しているような、光も景色も透す薄いカーテン一枚の距離感を実現させた。

各部屋の外壁は、内外ともにギャラリーのアイコンとして、カジュアルでクラシカルなブリックタイルで構成した。内壁の色は体温を感じるようなうっすらピンク色で塗り、外殻と内膜のような空間にartで色を添えるのが楽しくなるような色彩計画とした。

施主がここで暮らすことで、その光は部屋から漏れて、暗い小道を街灯のように温かく灯す。祖母との同居だけでなく、街の人たちとの同居、としてartとやさしさを開いていくライフスタイルを表現した。

建物の隙間や窓からartが広がっていく。建物自体が街と祖母それぞれに呼応しつないでいく新しい境界線となるような計画とした。



建設地	広島県広島市
用途	一戸建ての住宅
構造	WRC造
階数	地上1階
敷地面積	189.52㎡
建築面積	130.58㎡
延面積	128.19㎡

優秀賞 | 一般建築部門 (3点)



屋根は阿蘇由来の素材を釉薬に用いたオリジナルのタイルで仕上げた

❖ 熊本地震震災ミュージアム KIOKU ▶ (株) オープラスエイチ一級建築士事務所 / (株) 産紘設計 東京会

熊本地震の記憶を後世へつなげ、自然の恵みと驚異を伝えていくミュージアム。阿蘇の雄大な自然の風景と呼応するように、流れるような平屋の屋根を敷地に加え、屋根のカーブによって周囲の風景を切り取るように計画し、阿蘇の山や空に自然と目が向かうような佇まいを目指した。屋根は展示空間であると同時に、隣接する旧東海大学阿蘇校舎一号館へと訪れた人々を導く動線でもある。屋根の半分は軒下とし、室内は熊本地震の展示に触れる場、軒下は周囲の風景を眺めながら自ら考えることを促す場となっている。



展示室内や通路は緩やかなスロープとなっており、旧一号館へはバリアフリーでアクセス可能

建設地 熊本県南阿蘇村
用途 博物館
構造 木造、RC造、一部S造
階数 地上1階
敷地面積 27,027.99㎡
建築面積 1,578.87㎡
延面積 1,210.29㎡

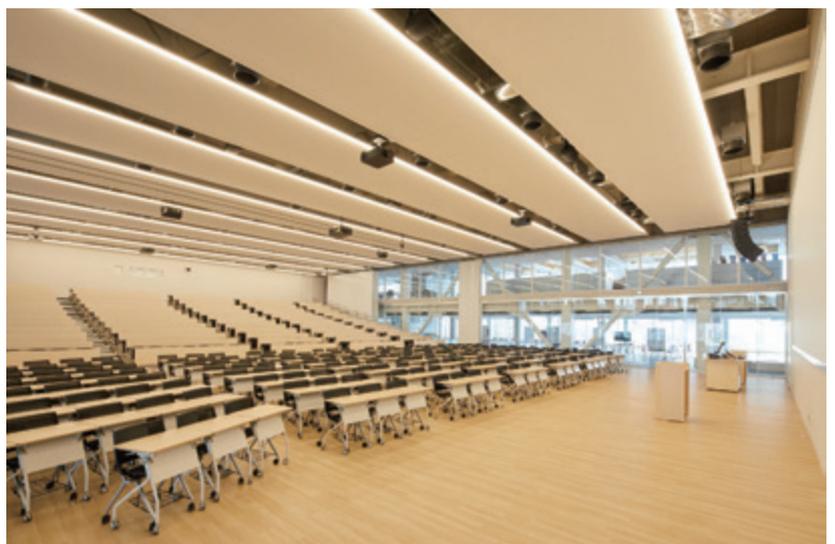


キャンパス広場に面し、学生たちのメインエントランスとなる西側外観

◆ **東京都市大学7号館** ▶ シーラカンスケイアンドエイチ(株) 一級建築士事務所 /
(株) 東急設計コンサルタント / 東急建設(株) 一級建築士事務所 東京会

キャンパス移転を含むキャンパス再整備の一環として計画された校舎。キャンパスの中心に対し立体的なアクティビティを表出する大きな透明ガラスと環境性能の両立を図るギザギザ壁、外付けブラインドを設けることで表情がさまざまに変化し、キャンパスの新たなシンボルとなっている。

計画では学生が個人や少人数で主体的に取り組む活動を意識し、内部はガラス間仕切りや家具で緩やかに区切られ、互いの気配を感じられる流動的で余力のある空間構成となっている。



1階中央に配したTCUホールは、平土間の大スパン無柱空間

建設地 東京都世田谷区
用途 学校(大学)
構造 S造
階数 地上4階
敷地面積 23,290.86㎡
建築面積 2,875.52㎡
延面積 10,105.03㎡



カステン構造のたわんだ屋根越しに背景の山並みが望める、自然を主役とした道の駅

❖ まきのさんの道の駅・佐川 ▶ (株) 若竹まちづくり研究所 / (株) STUDIO YY / (有) ワークステーション 高知会

日本の植物学の父であり、朝ドラの主人公としても注目された牧野富太郎の出生地、高知県佐川町に位置する道の駅。生家がある上町の歴史情緒あふれる銀黒の切妻屋根の町並みと、山々の折り重なる美しい風景に心を揺さぶられ、切妻屋根が並ぶように建物を配置した。世界初となる木造カステン構造による緩やかにたわんだ屋根が四季折々の表情を見せる背後の斜面の花畑を切り取り、来訪者が最初に目にする風景としてお出迎えする。地質の町としても有名な佐川町らしく地層のような壁を建物の内外にまたがるように配置した。

建設地 高知県佐川町
用途 道の駅
構造 木造
階数 地上1階
敷地面積 9,940.28㎡
建築面積 2,011.67㎡
延面積 1,841.95㎡

張弦梁とカステン構造が
つながり空間が連続
「まきのさんの市場」



優秀賞 | 小規模建築部門 (3点)



2,730 × 2,730 モジュールの格子状空間のチャレンジショップ棟

くにさき つるがわ
◆ 国東市鶴川商店街周辺拠点施設 ▶ 下村正樹建築設計事務所 / (株) 塩塚隆生アトリエ 大分会

神仏習合の地として歴史や文化が息づく国東半島の東部に位置する国東市鶴川地区で、「これからのまちのあり方」を模索する事業の一環として計画された。敷地は里道を挟み、新築するチャレンジショップ棟と、築120年の古民家を改装したテレワーク棟の2区画に分かれ、その間に屋根付きの歩廊でつないでいる。配置は歩廊を参道に見立て、敷地正面にある櫻八幡神社の配置を参照することで、地域との親和性を持たせた。現在と120年前、それぞれの技術のせめぎ合いを体験できる、地域の歴史を横断する建築でもある。



1階の床組を撤去し、構造補強を兼ねて土間コンクリート仕上げに変更したテレワーク棟

建設地 大分県国東市
用途 店舗
構造 木造
階数 地上1階
敷地面積 3,671.91㎡
建築面積 251.02㎡ (新築棟)、352.01㎡ (改修棟)
延面積 177.66㎡ (新築棟)、478.14㎡ (改修棟)



4 隅の構造コアと回廊からなるプランが中央の吹き抜けを介して積層する空間構成

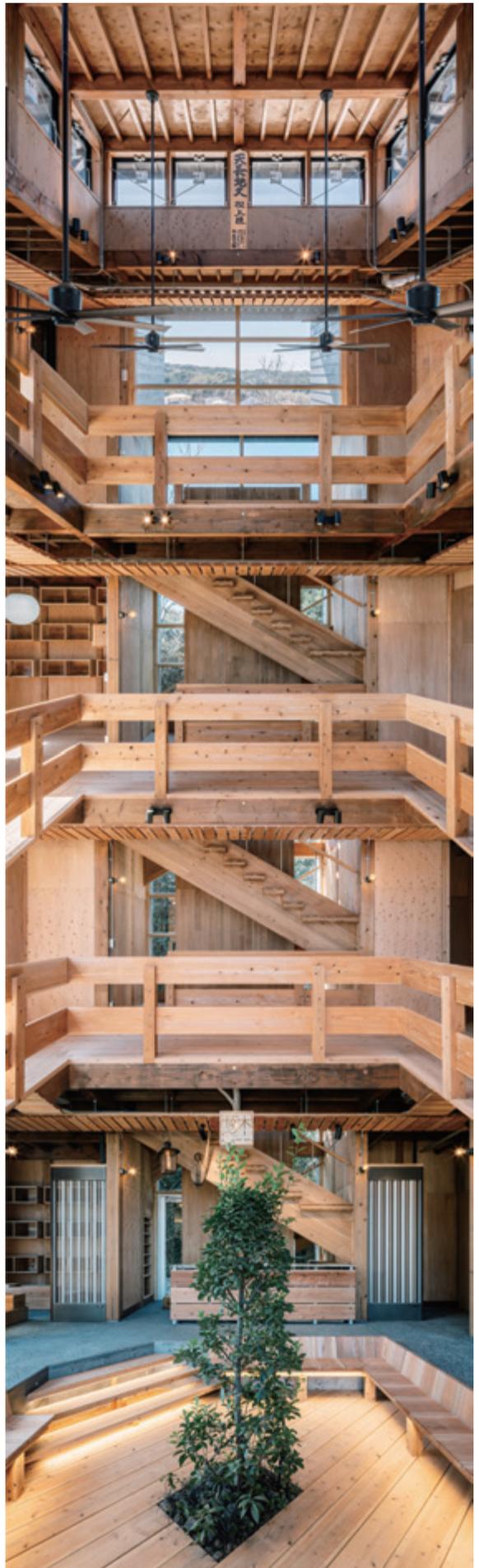
❖ むつみ 睦モクヨンビル

▶ (有) 睦設計コンサルタント 長崎会

建築基準法第 21 条第 1 項但し書きを最大限に活かし、土台、柱、梁の躯体すべてが一般製材のみで構成され、それらがすべてあらかわしの意匠となった日本初の木造 4 階建てビル。一般製材による建築は、部材生成エネルギーが小さく、原木からの歩留まりが良く、解体する際にも二次利用やバイオマス化がしやすい。また、中高層木造建築の普及は都市の炭素貯蔵と森の好循環を生み出すことができる。森に眠る国産材のストックを環境負荷の小さい形で建築に置き換える、脱炭素の時代に究極的に寄与できる建築として考えた。

建設地	長崎県壱岐市
用途	喫茶店、民泊、事務所
構造	木造
階数	地上 4 階
敷地面積	1,801.89㎡
建築面積	96.71㎡
延面積	292.05㎡

ガラスカーテンウォールを介して、木質感の気配を感じられる外観





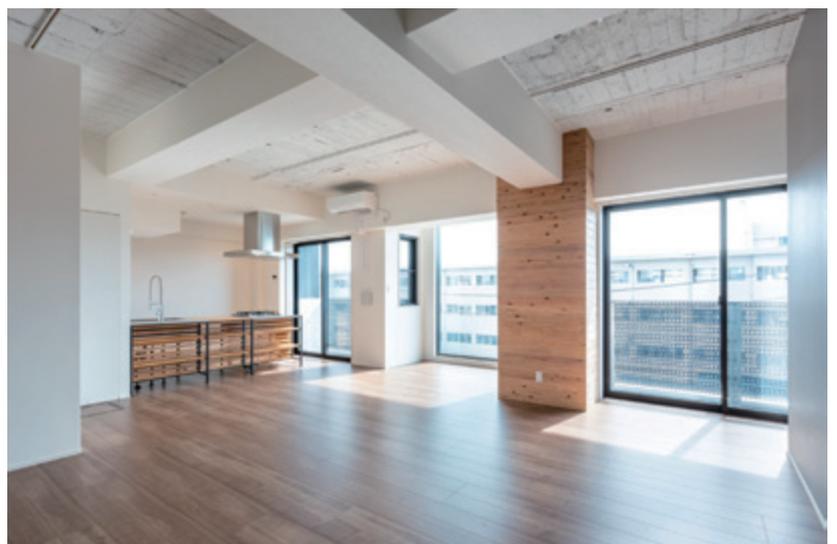
廃墟と化していた建物のイメージを一新した外観

◆ NF-SQUARE O-GAKI ▶ 坂本匡史建築設計室一級建築士事務所／

(株) 青木茂建築工房東京事務所一級建築士事務所 東京会

1967年に旧耐震基準で設計・建設された、検査済証の存在しない共同住宅の再生。再生により耐用年数100年超の評価を得て、型枠大工として創業した、建築主である建設会社の先達が残したレガシーを継承し、さらに100年先へ向けて次世代の建築主が継承を繰り返していくというプロジェクトである。

耐震補強は住環境の妨げにならないように計画。RC雑壁撤去を基本として軽量化を図りながら、住戸の間口となる南側長手方向は全階柱2カ所をRC増し打ち補強し、北面長手方向は各階RC袖壁補強を行った。



補強柱は飴肥杉で仕上げ、建物の再生のシンボルとした

建設地 岐阜県大垣市
用途 共同住宅、長屋、事務所
構造 RC造
階数 地上5階
敷地面積 919.30㎡
建築面積 268.41㎡
延面積 945.61㎡

❖ 幼保連携型認定こども園 らみどり ▶ (株) はりゅうウッドスタジオ / TAPS 建築構造計画事務所 福島会



市の中心部、緑豊かな丘陵地に建つこども園。自然を生かした森のようちえんのような保育環境をつくりたいという事業者の意向から、翠ヶ丘公園の緑塊と連続し、かつてあった里山を再生するこども園にしたいと考えた。既存の桜の巨木を残し、屋根は丘の地形に寄り添う、保育室を象徴するような家形の形状としている。園庭を囲い込むように配置した縁側は、保育室と園庭の中間領域となり、園庭に自然と意識が向くように意図した。道路側の妻面は壁で閉じず、保育室を通してこども園の雰囲気や地域に伝えるような計画とした。

建設地	福島県須賀川市
用途	幼保連携型認定こども園
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	9,813.46㎡
建築面積	1,832.67㎡
延面積	1,729.02㎡

❖ KIND Center ▶ (株) 渡邊健介建築設計事務所一級建築士事務所 東京会



複数の部門を集約する工場内の本事業所の新築計画。これまでの工場のように、合理性・効率性を重視して整備するのではなく、偶発的な交流により、新たな発想やプロジェクトが生まれるような執務空間を目指した。

地上から屋上まで450mmずつ床段差で連続し、南北2つのコア周りを3周する空間構成により、体験上は階のない一体的な空間を実現した。トップライトによる自然光に満たされた中央の吹き抜けでは、スラブを張り出したり、ブリッジや階段で対面をつないだりして、偶発的な交流を誘発し、かつ自由な動線を生み出した。

建設地	千葉県市原市
用途	工場
構造	S造
階数	地上4階
敷地面積	666,023.33㎡
建築面積	1,870.34㎡
延面積	4,748.14㎡

❖ COURT HOUSE 自由が丘 ▶ 一級建築士事務所奥野公章建築設計室 東京会

低層住居地域に建つ12戸のコーポラティブハウス。①地域のコミュニティの継承、②プライバシーの強度をコントロールした新たなコミュニティの形成、③集まって住むからこそ可能なパッシブな住環境の形成をテーマに設計した。建物は口の字配置の4層構成で、約12m四方の大きな中庭に地下から2階までの立体的な緑化を行った。これにより、全住戸に快適な採光・通風のあるパッシブな住環境が作られている。開口を市松状に配置し、各住戸のプランに合わせて樹種を選択しブラインドにするなど、皆が使える共有の中庭を形成した。



建設地 東京都目黒区
用途 共同住宅
構造 RC造
階数 地上3階、地下1階
敷地面積 667.96㎡
建築面積 369.32㎡
延面積 1,177.42㎡

❖ 岐阜市立長良小学校および長良公民館 ▶ 大建・大建 met 設計共同体 岐阜会

学校・社会施設としての地域性を生かし、地域社会との新しい関係をつくり出すため、施設中核に屋外の共用空間「ながらっコモン」を計画した。学校（主に特別教室）、共同調理場を隣接して配置し、校舎2階を含め建物内外や内部同士を関係づけ、各施設利用者の交差点として活気ある地域交流域となるように設計した。平面構成は、多様化する学習に対応し、開放的空間を連続させるため雁行配置にし、児童が積極的に施設内外のスペースを使い、学びや遊びの場を創造できるよう、「ワークスペース」などの学習および交流の場も設けている。



建設地 岐阜県岐阜市
用途 小学校、学校給食共同調理場、公民館、体育館
構造 RC造、一部S造
階数 地上2階
敷地面積 17,072.89㎡
建築面積 6,285.92㎡
延面積 9,498.36㎡

❖ 対馬博物館 ▶ 一級建築士事務所 (株) 石本建築事務所 九州オフィス / トータルメディア開発研究所 福岡会



古代より日本と大陸の交流の玄関口となってきた対馬の歴史系博物館である。古代から近世までの歴史を対象とし、江戸時代に朝鮮との外交を担った対馬藩宗家の記録である宗家文書が主要な収蔵品である。

敷地は宗家の居城であった金石城跡^{かおいしじょう}であり、歴史的な景観を維持し古代より重層する歴史の重さに耐える建築を目指した。宗家文書を取り入れる収蔵庫は分厚い陶板で覆われた強固なボリュームとして建物の中央に配置し、その他の機能が囲む。機能ごとにふさわしい材料で性格付けされたボリューム群をいぶし銀に光る大屋根が覆う構成である。

建設地	長崎県対馬市
用途	博物館
構造	RC造、一部S造
階数	地上3階
敷地面積	6,279.76㎡
建築面積	3,253.63㎡
延面積	5,028.72㎡

奨励賞 | 小規模建築部門 (5点)

❖ オモヤとハナレ ▶ 山村健建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京会



隣接する2住戸を一家族あるいはシェアルームとして用いることができる、築50年の団地における新たな住まい方のプロトタイプの提案。「オモヤ」をプライベートな主空間としながら、最小限の立体家具で緩やかに空間が仕切られた「ハナレ」を団地内の人々が集う共有の場としてデザインすることで、コロナ禍以降の住環境へのさまざまなニーズに対応しながら、団地コミュニティの活性化を促している。両者をベランダで接続することで、内と外を日常生活の中で行き来する、豊かな空間体験を創出している。

建設地	大阪府堺市
用途	共同住宅
構造	WRC造
階数	地上5階
延面積	98.46㎡

❖ ゆりのき保育園 ▶ (株) SN Design Architects 一級建築士事務所 静岡会

話す、歩く、食べる、考える等あらゆる行動が未熟な0～2歳までの子どもを対象とした保育園。保育としての機能だけでなく、情緒の安定が求められることから、親元から離れた外の世界への印象を和らげるような建築を考えた。園庭を囲うような口の字型のプランとし、全室が外部とのつながりを持つ配置とすることで、敷地面積と諸条件を両立させた。園庭を寄棟屋根で覆い、中央に採光のための開口を少し絞りに取り、内部のような外部空間を体験でき、それが子どもたちにとって優しさのある場所になると考えた。



建設地 静岡県浜松市中央区
用途 保育所
構造 木造
階数 地上1階
敷地面積 499.78㎡
建築面積 265.65㎡
延面積 238.57㎡

❖ KANEKA Wellness Center ▶ 大成建設(株) 一級建築士事務所 / 隈研吾建築都市設計事務所 大阪会

企業の診療所兼厚生施設の計画。敷地は工業所に隣接する雑木林で、地域植生の森を再生しながら、森に溶け込む建築を目指した。診療機能を持つヘルスケア棟と多目的スペースを持つ多目的棟を既存樹木を避けながら配置し、高さが自在に変化する多面体の屋根で覆うことで、建物を森に溶け込ませた。主要構造を木造とする多面体の屋根は、室内に温かみのある空間をつくり出し、CO₂固定化にも寄与している。瓦状の太陽電池やシーソー太陽電池を配置し、環境技術をデザインに統合しつつNet-ZEBを実現。WELL 認証プラチナも取得した。



建設地 兵庫県高砂市
用途 社員の厚生施設、診療所
(患者の収容施設のないものに限る)
構造 木造、一部S造
階数 地上1階
敷地面積 5,666.73㎡
建築面積 842.63㎡
延面積 625.49㎡

❖ じょう いえ 壤と家 ▶ (同) 建築設計事務所 SAI 工房 兵庫会



親子3代に渡り、淡路島で農業と牛飼いを生業としてきた家族の住まい。敷地は、田んぼとして利用されていたため、道路と最大1mほどの高低差が生じていた。そこで道路が床レベルとなるように地面を一部掘り起こし、基礎を形成。掘り起こした土を残った敷地に盛土して床から約1mの高さが地面となると、住民が大地と容易に触れられる関係性が生まれた。この床に、北側にある実家の採光や眺望を遮ることがないように水平に伸びる屋根を設け、また周囲からの視線を調整するため、外周の一部に鉄骨造を併用し、軒が深く薄い屋根をデザインした。

建設地	兵庫県淡路市
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	地上2階
敷地面積	528.04㎡
建築面積	185.52㎡
延面積	166.08㎡

❖ 鳥飼八幡宮 式年遷宮 ▶ 一級建築士事務所 二宮設計 福岡会



1,800年の歴史を有する神社の式年遷宮における本殿・拝殿の建て替えと仮宮の新設。地域のつながりや氏子意識が薄れゆく風潮の中で、歴史と伝統を踏まえた上で神社を現代に最適化したいという宮司の想いに応えるため、境内の整備と社殿の新設を計画し、再び人々が集う神社の未来を模索した。本殿は高床校倉の神明造りとし、拝殿は御影石と茅壁による祈りの空間である。造営中に使用する仮宮は、光溢れる簡素な県産材架構による木造空間とし、遷宮後も常設とするため、境内の見通しを損ねないよう透過度の高いガラスで囲った。

建設地	福岡県福岡市中央区
用途	神社
構造	木造、RC造
階数	地上1階
敷地面積	1,343.94㎡
建築面積	258.92㎡
延面積	208.26㎡